

Campus

宿舎祭特別号

全大会の広報誌

May. 2017

祭りを彩る夜の華

ゆかたコンテスト特集





人間学群

「Circle of human」

人間学群のテーマは「みんな人間」。心理学類、障害科学類、教育学類の三つの学類が協力して一つのパフォーマンスを完成させる。

「みんなで楽しみつつ、優勝を狙っていきたい」。そう話すのは田嶋千聖さん（障害科学類1年）だ。ダンスを主軸としたパフォーマンスで観客を魅了したいという。曲ごとにダンスの雰囲気が変わるところが見どころだ。更に、曲のつなぎ目にもこだわりがあるという。「選曲や個性の強い人たちをまとめるのは大変だった。しかし、一人一人の個性を生かして完成させる。パフォーマンスを通して、人間学群の仲の良さは大学屈指だということを感じてもらえれば」と田嶋さんは意気込む。



医学群

「チーム☆エクスタシイ」

医学群のテーマは「あなたをエクスタシイの境地へ誘います。ぜひ私たちの魅力を五感で感じてください」。ダンス中心のパフォーマンスを通して「エロかつこよさ」をアピールする。

振り付けは全てダンス経験のあるメンバーが担当した。かつこいダンスと可愛いダンスを組み合わせて観客を魅了するという。「ダンスのクオリティはどこにも負けない自信がある。色気を全面に出したパフォーマンスに注目してほしい」と菅岡美風さん（看護学類1年）は話す。メンバー全員で力を合わせて優勝を目指す。



生命環境学群

「LIFeee」

生命環境学群は、先輩からの勧めで出演が決定した。昨年に引き続き、今年も学群全体で協力し、最優秀賞に挑む。「主役を務めるのは初めてなので緊張しているが、精一杯頑張りたい」と岩田美佳さん（地球学類1年）は語る。3学類からそれぞれ候補者を選出し、出演者全体の投票により決定したという。

演技の中でも、特にダンスに力を入れている。出演者全体で踊る陽気なダンスに加え、ある場面では闘争が繰り広げられる。抑揚のある演技が特徴だという。「3学類合同なので全員で集まるのは難しく、パフォーマンスの考案に苦労した。係を分担して作り上げたので、本番では全員で楽しめる舞台にしたい。」

社会学類

「野女と美獣」

※取材時不在だったため写真無

社会学類は、「社会学らしき」に力を入れている。紹介文なしでも、演技終了時には社会学類だとわかるパフォーマンスにするつもりだという。

流行を詰め込んだ演技で笑いを誘い、キラのあるダンスで会場を魅了する。また、「野女と美獣」という団体名を掲げ、予想外の演技で場を盛り上げたという。

パフォーマンスの考案には苦労もあった。メンバーにダンス経験者がいなかったが、出演者数名で協力し、完璧なダンスを作り上げたという。「今しかできないことを全力でしたい」。社会学類は、「社会学らしき」を前面に押し出し、笑いもパフォーマンスも頂点を狙う。



情報メディア 創成学類

「D.O.I」

「今年のメ創はやばい、を印象つけるステイジにしたい。」と語るのは、土居未奈さん（情報メディア創成学類1年）。

パフォーマンスの決め手を考える上で、何度も話し合いを重ねた。何を使って情報メディア創成学類らしさを強く引き出すにはという観点を重視したという。結果、音源に筑波大学のテーマソング「Imagine the future、未来を想え」を Electronic Dance Music(EDM)にアレンジしたものを使用することに決まった。「かっこいいパフォーマンスをする自信がある。絶対に見に来て欲しい」



体育専門学群

「美女と野獣」

体育専門学群のテーマは、美女と野獣。ダンス部に所属するゆかコン嬢を筆頭に踊る。「パフォーマンスで使う中の一曲、和風の音楽の力強さからラグビーを連想した。そこで、ラグビー部に所属する人にも参加を呼びかけたところ、出場してくれることになった。踊るのが苦手な人もいるので、練習を工夫している。ダンスでは絶対に負けない」と木下ひなたさん（体育専門学群1年）は意気込む。木下さんは学群の友人からの推薦で選ばれたという。

力を合わせて、目指すは優勝。ラグビー部の男らしさと、ダンス部の可憐さが共演することで生まれる、唯一無二のパフォーマンスが魅力だ。



比較文化学類

「狐火百鬼夜行」

比較文化学類は百鬼夜行をイメージした和風のパフォーマンスを行う。ゆかコン嬢が箏という雅楽で用いられる楽器を演奏する場面もあり、注目してもらいたい。

長部世理菜さん（比較文化学類1年）が今回のゆかコン嬢になったのは、ステージパフォーマンスが元来好きだったからだ。しかし、メンバーを集めたり、一からパフォーマンスを考えたりと苦労は多かったという。

長部さんはパフォーマンスの出来には絶対の自信を持っている。「優勝はもちろんのこと、観客の皆さんに感動してもらえるパフォーマンスを行うので、ぜひ見に来てほしい」と長部さんは語る。



芸術専門学群

「女子力UP☆ 大作戦！」

「高校時代の恩師の勧めとチャレンジ精神で立候補した」と佐藤彩良さん（芸術専門学群1年）と語る。そのパフォーマンスはダンスが中心だが、練習ではテンポの速さに苦労したという。

毎年、名目通りの芸術性の高いパフォーマンスで観客の目を楽しませる芸術専門学群。今年の見どころは様々な人が演じる『ゴリ子』と、雲囲気の異なるミュージカル調の華麗なダンスだ。ユニークな組み合わせのパフォーマンスに注目したい。



知識情報 ・図書館学類

「本キャン遠いが 駅は近い」

新川さんが率いる知識情報・図書館学類のテーマは「本キャン遠いが駅は近い」だ。タイトルから気づくかもしれないが、パフォーマンスは「ドラマ」逃げるは恥だが役に立つ、通称「逃げ恥」を意識している。胸キュンと笑いを、春日エリアで大学生活を送るメンバーならではのやり方で届けろという。特に面白さという点には自信があり、見に来た人を笑顔にするパフォーマンスを自指す。「驚き」という面でもときめきという面でも心停止必至のラブストーリーになっているので、ぜひ注目してほしい」と新川さんは話す。

「女子力の高さを見込まれてゆかコン嬢に選ばれた」と語る新川ゆい子さん（知識情報・図書館学類1年）。



国際総合学類

「狂いの インフルエンザー」

今年の国際総合学類のテーマは「狂いのインフルエンザー」。印象的なテーマ名は、テーマ決めの直前に学類内でインフルエンザが流行したことに由来する。

パフォーマンスはダンスがメインだ。今年のメンバーには例年に比べダンス経験者が少ないが、その分は練習で補つと意気込む。「特に手の動きで、難しい振付がある。しかし、本番では必ずそらえて観客を圧倒してみせるので、ぜひ注目して見てほしい」と神山恵さん（国際総合学類1年）は話す。更に学類の特性を生かし、パフォーマンス中に神山さんの英語のセリフが盛り込まれている。近年毎年賞を獲得している国際総合学類の名にかけて、今年も優勝を目指す。



- 本部
- 案内所
- 教養所
- お手洗い
- 休憩所
- 喫煙所
- バス停留所
- 緊急避難場所

STAFF

編集人	小島七海	
発行人	石川貴嗣	
表紙デザイン案	藤原律子	
編集委員	青野綾介	藤原律子
	石川貴嗣	森下裕貴
	石原琴子	和田多香子
	岡崎那菜	
	小島七海	
	輿水雷斗	
	鈴木苑子	
	鈴木祐悟	
	関亦優	
	十川澄	
	西堀涼香	
	原田賢志	

発行 全学学類・専門学群代表者会議
広報委員会



<http://www.stb.tsukuba.ac.jp/~zdk/>
zdk@stb.tsukuba.ac.jp

広報委員会では随時編集委員を募集しています。興味のある方は上記のメールアドレスまでご連絡ください。